

滑川市「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で記録的な高温や干ばつ、集中豪雨等の異常気象が多発しています。国内では、毎年のように各地で大型の台風や豪雨による甚大な被害が発生しているほか、夏季には猛暑が連日続くなど、これまでに経験したことの無い異常気象に見舞われています。県内においても、今夏は最高気温が 35℃以上となる猛暑日が過去最多を更新するなど、気候変動が市民生活へ及ぼす影響がさらに大きくなっていくことが懸念されています。

2018年に公表された IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「世界の平均気温の上昇を産業革命から 1.5℃に抑えるためには、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。日本政府は、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、脱炭素社会の実現に向けた政策を強力に推進していく方針を掲げており、社会全体としてこの目標を達成するための取組が求められています。

本市は今年度市制施行 70 周年を迎えます。先人たちが残した自然豊かな郷土や、力強く発展した産業は、より良い状態で次の世代に受け継いでいかなければいけません。温室効果ガスの削減と、市民の豊かで快適・健康な生活を同時に達成することを目指す「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」に賛同し、8月29日には「デコ活宣言」を行ったところです。今後はさらに、市民、事業者及び行政が一体となって行う全市的な脱炭素の取組を展開し、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和 5 年 9 月 5 日

滑川市長 水野達夫